

## 当院における温熱治療について

---

当院では、2006年に山本ビニター社製温熱治療装置を導入し「保険診療での温熱治療」を開始しました。導入当初より温熱治療単独での治療効果ではがんを制御することはできないと考えており、温熱での殺癌効果より、温熱のもたらず生体内の異常タンパク質の修正や免疫細胞の機能向上をはかり、低用量化学療法と各がん腫ごとに使い分ける4種類の補助療法を併用し多くの成果を上げてきました。この集学的方法により、正常細胞に影響を与えずがん細胞のみへのアポトーシス(細胞の自殺)を得ることが可能となり、多くの症例において「がんの制御」を得ることが可能となりました。(2013. 国際個別化医療学会・神戸でこの実績を発表しております)

\* 温熱治療開始から、今年で10年目となり温熱治療施行時の手技、化学療法との併用のタイミングなどのノウハウの蓄積から富山大学での温熱治療のアドバイザーにも加わっております。